



家畜保健衛生所だより

R7.7.28

吸血昆虫対策の再徹底を！！

現在、ランピースキン病がイタリアやフランスで急速に拡大しています。

今年 6 月に初めて発生して以降、7 月 23 日時点でイタリア 29 件、フランス 33 件が確認されています。

日本と同様、これまで発生がなかった国々での広がりは、極めて重大な事態です。

【参考(国内の状況)】

昨年 11 月、国内で初めてランピースキン病の発生が確認され、福岡県および熊本県で累計 22 件・230 頭の発症が報告されました。

自主淘汰やワクチン接種の徹底により、12 月 26 日を最後に新たな発症はなく、現在の国内発症頭数はゼロとなっています。

本病は主に吸血昆虫が媒介する伝染病です。気温が上がる時期はサシバエ等の吸血昆虫の活動が活発になり、**本病が再流行するリスクが高くなります**。吸血昆虫はランピースキン病だけではなく、**牛伝染性リンパ腫や牛異常産を引き起こす原因となるウイルスも媒介します**。

今一度、吸血昆虫対策の強化をお願いします！

△サシバエ等吸血昆虫対策について△

I. 卵、幼虫及びさなぎ対策

- サシバエのさなぎが存在する堆肥は、適切な頻度での切り返し(週に一回程度)を行う。
- 成牛舎の隅や子牛の牛床全体に昆虫成長制御剤(IGR 剤)を散布。
- 牛舎壁の隅や溝、ウォーターカップの下、通路のゴムマットの下やその隙間等の清掃。

殺虫剤はサシバエの飛ぶ高さより上を狙う！

II. 成虫対策

- 薬剤抵抗性を獲得しないように、異なる種類の薬剤をローテーションで使用する。
- 防虫ネット及びハエ取り紙の牛舎への設置や、サシバエの休息場所となる牛舎周辺の草刈り等を実施する。

III. その他の対策

- 車両洗浄・消毒や車体・車内への殺虫剤の散布により、車両等を介した伝播を防止する。
- 農場で使用する衣類や長靴、器具等の消毒により、人や物を介した伝播を防止する。

家畜に異常が認められた際には、速やかに家畜保健衛生所までご連絡ください。

中予家畜保健衛生所

TEL 089-990-1333

携帯 090-6282-6129

(夜間・休日)